

誕生おめでとう

赤ちゃんのなまえ	親の氏名	行政区
佐藤 聖絆くん	秀義・明日香	伊丹 沢
佐藤 織姫ちゃん	裕次・美香	深 谷

すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏名	行政区
村山 弘 治	宮内
古川 明 子	福島市
田邊 直 孝	関 沢
丹 治 菜菜美	福島市

いつまでもお幸せに

おくやみ

氏名	年齢	行政区
鈴木 巖	76	二枚橋
熊久保 勝 計	85	伊丹 沢
平 栗 弘 一	88	白 石

ご冥福をお祈り申し上げます



(5月21日から6月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

(平成21年6月1日現在)

人口	今月(前月比)	昨年同期
男	3104人 (-1人)	3148人
女	3093人 (-3人)	3167人
計	6197人 (-4人)	6315人
世帯数	1707戸 (+1戸)	1693戸

◆◆◆5月1日～31までの人口動態◆◆◆			
転入	19人	転出	18人
出生	1人	死亡	6人

(平成17年国勢調査に基づき増減された現住人口)

※お詫びと訂正 広報において6月号に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。P20ご寄付ありがとうございました▶(誤)佐藤 日出夫(東京都あきる野市)金50,000円(正)佐藤 日出男(東京都あきる野市)金40,000円

5次総中間評価・見直し事業

福島大学 飯館までいプロジェクト 事業提携協定 飯館村



▲協定を交わす塩谷弘康プロジェクト代表(左)と菅野村長

6/5 事業提携 協定調印式

飯館村第5次総合振興計画(以下・5次総)の中間評価・見直し事業の実施に伴い、飯館村と「福島大学・飯館までいプロジェクト(塩谷弘康代表)が、事業提携協定を結ぶことに

なり、飯館村役場で調印式が行われました。今年度は、平成17年から26年度までを計画期間とする5次総の中間年に当たることから、村民や役員、専門家をメンバーとする「教育」や「地域産業」などの6つの専門部会等を設け、前期5年間の評価と後期5年間の重点事業などを来年の2月までに策定します。12月には中間報告会を開き、村民の皆さんにお知らせし、来年度予算も反映していく予定です。

この協定は、福島大学行

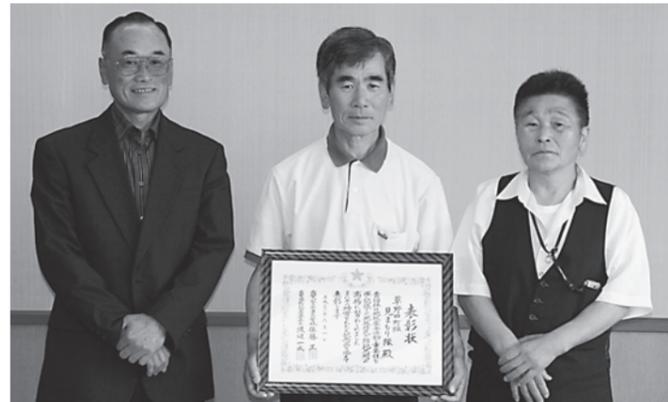
5次総中間評価・見直し

村Ⅱ研究の場の提供
事業提携協定
大学Ⅱ専門的な支援

行政策学類に所属する教員9人からなる「福島大学・飯館までいプロジェクト」が、5次総の中間評価・見直し作業に専門的な見地から支援することに対して、村が同大学院生の実践的な研究の場として、専門部会に大学院生を参加させることで実現したものです。

みんなで子どもたちを身守ろう

6/1 草野田町組見まもり隊が南相馬地区防犯協会連合会表彰



▲表彰を受けた草野田町組見まもり隊(写真左から：菅野哲副隊長、大槻栄一隊長、花井勝義副隊長)

草野田町組見まもり隊(大槻栄一隊長)が南相馬地区防犯協会連合会(渡辺一成会長)から「優良防犯団体」表彰を受けました。

草野田町見まもり隊は平成18年の結成以来、小学生の登下校時の街頭活動や地域内パトロールなどを実施し、犯罪防止に努めていること、さらに

児童へのあいさつ運動など青少年健全育成にも貢献していることが高く評価されました。

表彰を受けた大槻会長は、「地域の宝でもある子どもたちの安全・安心のために、これから地域全体に見まもり隊の活動が広がってくれることを期待しています」と話していました。



この星を これ以上
こわさないで

「今日の私の話には裏も表もありません。なぜって私が環境運動をしているのは、私自身のためであって、自分の未来を失うことは、選挙で負けたり、株で損をするのとはわけが違いますから。死んだ川にどうやってサケを呼び戻すのかあなたは知らないでしょう。今や砂漠となってしまう場所はどうやって森をよみがえらせるのか、あなたは知らないでしょう。」

どうやって直すのかわからないものを、壊し続けるのはもう止めてください。」

日系4世でカナダ人の12歳の少女が、居並ぶ世界のリーダーたちの前で、6分間のスピーチをしました。1992年、ブラジルで開かれた国連の地球環境サミットでのことです。

この言葉は人々の強い感動を呼び、世

界中を駆け巡り「歴史的なスピーチ」ということで、今もって言い伝えられているそうです。

私たちの生活は、地球の環境を損なうことと引き換えに成り立っています。「歴史的なスピーチ」から17年が経ち、ようやく彼女の訴えを地球上の全ての人々が真剣に考え、小さくとも行動しようとしています。

私たちは、今、「地球温暖化防止」や「持続可能な社会」という大きな課題を突きつけられている時代です。

飯館村は、環境省の目玉事業「エコモデルハウス」(1億円・100%補助)に手を挙げていましたが、全国で20件のみという難関をパスしました。

高知、石川、山形県などの大きな都市が選ばれた中で、6200人の飯館村も選ばれました。とてもすごいことです。名誉でもあります。

エコとは、エコロジー(環境保護・自然保護運動)の略だそうです。この建物を村の未来のために、そして多くの子どもたちの環境学習のために有効に使う知恵を出し合っていきたいと考えています。ご期待ください。

平成21年6月29日
飯館村長 菅野 典雄